

山口県海外ビジネスサポートデスク 通信

11月号

台湾

令和5年度版「山口県海外ビジネスサポートデスク」

初めて海外ビジネス展開に取り組まれる県内企業様からのご相談も多くいただいています！

海外ビジネスを検討中の企業様は、ぜひご活用ください。

ビジネスサポートデスクの活動状況

1. FOOD JAPAN2023 での出展企業サポート

10月11日～13日にシンガポールで開催された FOOD JAPAN 2023 には、山口県県内企業 9 社が出展されました。当デスクでは、やまぐち産業振興財団を通じて出展した 5 社に対し、事前にシンガポールバイヤーとのマッチング（50 件）を行い、展示会会場での来場者声かけによるマッチングを含めて商談サポート（75 件）を実施しました。また会期中に実施された、村岡知事のシンガポールバイヤーに対するトップセールスをサポートしました。この度の FOOD JAPAN 2023 では、海外輸出に初めて取り組まれる県内企業や、新商品をテスト的に出品される県内企業が出展されましたが、どの商品に対してもシンガポールバイヤーからの好反応がみられました。また会期最終日の午後に実施されたシンガポール消費者向け販売では“売り切れ”となる県内企業の商品も数多く見られました。当デスクでは今後、シンガポールバイヤーと県内出展企業との商談後フォローを行ってまいります。



2. デスク支援社数・件数・内容（11月まで）

・支援社数・件数：15社 18件

※複数国を相談・ビジネス展開対象とされる企業様がいらっしゃいます。

※初めて海外ビジネス展開に取り組まれる企業様も 5 社。

- ・主なご相談内容（テーマ）：
 - －対象国での事業展開に関するご相談
 - －販路候補先やパートナー候補先の開拓
 - －対象国での想定ビジネスに関する情報収集や現地企業等の調査等の内容でのご相談をいただいています。

3. 相談対応例

■「タイで製造工場向けサービスを展開したい」

- ・タイでの販路先候補となり得る対象企業の情報収集・リスト作成。
 - ・サービス展開する際に工場向けに補修・メンテナンスを行える協業先候補企業の情報収集・リスト作成。
 - ・タイでのサービス展開にあたってのビジネスモデル・事業計画の検討サポート。
- 引き続き、ビジネスモデル・事業計画の検討と販路候補先とのオンライン面談のサポートを通じて、現地進出に向けたサポートを進めています。

現地情報・一般情報（台湾）

台湾の卸売業・小売業・飲食レストラン業の景況感

台湾を海外展開の対象とされる県内企業様とのご面談では、台湾の業種・業界の景況感に関してご質問いただくことがあります。そこで今回は、台湾の卸売業・小売業・飲食レストラン業の景況感について、台湾經濟部統計をもとにご紹介します。（各表中※1：速報値）

■卸売業

単位：台湾ドル

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月※1
卸売業	金額	914,927	861,267	1,021,491	903,840	945,886	965,496	980,957	986,101	1,068,307
	前年同期比	-18.4%	-0.4%	-12.8%	-15.1%	-12.8%	-11.4%	-5.4%	-5.0%	-3.8%

出典：台湾經濟部統計をもとに作成

コロナ禍が始まった2020年に前年比+2.5%、コロナ禍中の2021年に前年比+15.8%、コロナ禍があげた2022年に前年比+4.4%を示しプラス成長していた卸売業ですが、2022年11月にマイナス成長に転じて以降11ヵ月連続でマイナスの状況。2023年9月速報値では、卸売業のうち「一般商品」「食品・飲料・タバコ」「燃料及び関連製品」「自動車・オートバイ及び関連部品・アクセサリ」のみ前年同月比プラス成長を示しています。

■小売業

単位：台湾ドル

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月※1
小売業	金額	408,377	329,208	370,382	369,736	377,756	371,916	377,823	373,592	374,664
	前年同期比	4.2%	4.6%	7.6%	7.5%	17.1%	13.9%	5.3%	4.3%	6.0%

出典：台湾經濟部統計をもとに作成

コロナ禍後のリベンジ消費を背景に毎月前年同月比プラスの状況が続いています。製品別にみると、2ヵ月連続で前年同月比を下回るのは「建設資材」「情報通信機器・家庭用電化製品」を取扱う小売業のみで、2023年9月速報値では、その他の製品を取扱う小売業は前年同月比でプラス成長を示してい

ます。

小売業態別（百貨店／スーパーマーケット／コンビニエンスストア／ハイパーマーケット／その他一般商品販売店）にみると、2023年9月速報値を含め、百貨店業態は7ヵ月連続で対前年比プラス成長、スーパーマーケットは3ヵ月連続で対前年比プラス成長、コンビニエンスストアは1年間以上対前年比でプラス成長、ハイパーマーケットは2ヵ月連続でプラス成長を示しました。

■飲食レストラン業

単位：台湾ドル

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月※1
飲食レストラン業	金額	100,477	77,723	77,088	81,524	83,618	83,415	89,953	89,835	83,518
	前年同期比	32.5%	8.2%	10.5%	31.4%	45.2%	34.7%	18.7%	14.3%	15.8%

出典：台湾經濟部統計をもとに作成

コロナ禍中はロックダウン等で打撃を受けた飲食レストラン業ですが、コロナ禍が明けた2022年は対前年比18.9%のプラス成長を示し、2023年は毎月対前年同月比を上回る状況。来店型の飲食店・レストランだけでなく、食品ケータリングサービスもプラス成長中。

台湾ではこれから旧正月商戦が本格化する時期を迎え、バイヤーの動きも今まで以上に活発になります。当デスクでは、台湾向けに販路開拓・拡大をご検討中の県内企業様のサポートを行っておりますので、ぜひご活用ください。

以上